

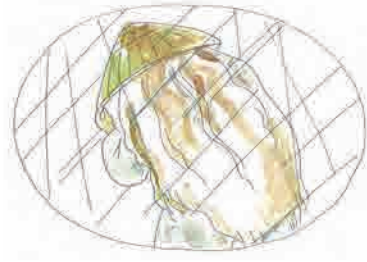
目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (行事編)
- 3 俳句 与謝蕪村 松尾芭蕉 石橋秀野
- 4 あそびうた まねっこパンダ
- 5 早口ことば 「隣の客はよく柿食う客だ」
- 6 かぞえうた 1匹 1番 1膳 (犬、相撲、箸)
- 7 今月の詩 むかし噺 北原白秋
- 8 うた 合成のうた
- 9 ことわざ 風前の灯 下手な鉄砲も数うちゃ当たる
仏の顔も三度 安物買いの銭失い
- 10 うた 単位のうた
- 11 なぞなぞ
- 12 手あそびうた ずいずいずっころばし
- 13 今月のうた はんたいことば
- 14 四字熟語 一朝一夕 自業自得 百発百中
- 15 おはなし はなさかじじい
- 16 童謡 朧月夜
- 17 イメージトレーニング 森のお友だち (第12話 くま子さんと会う)
(イメージしてみましよう)
- 18 漢詩 黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る
- 19 百人一首 藤原基俊 清少納言 蝉丸 藤原興風
- 20 復習コーナー
- 21 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

俳句

はるさめ
春雨や ものがたりゆく みのかさ
蓑と傘

よさぶそん
与謝蕪村



しほう
四方より はなふ
花吹き入れて におのうみ
海

まつおばしろう
松尾芭蕉



はる
春さむし ねざめの
畳 よく
におう
匂う

いしばしひでの
石橋秀野



《まねっこパンダ》

まねっこ パンダが やってきた

いっしょにいっしょに やってみよう

あたま くち おへそ はい (トン トン トン)

おなか みみ みぎ^{あし}足 はい (トン トン トン)

あたま かた おしり はい (トン トン トン)

ちょっと はやく なりますよ

こしポン ひざポン 目^め みみ おへそ はい

(トン トン トン トン トン)

みぎ^{あし}右足タッチ ひだり^{あし}左足タッチ あご かた 眉毛^{まゆげ} はい

(トン トン トン トン トン)

かた^{かた}肩 あし^{あし}足 かた^{かた}肩 ポン あたま^{あたま}頭 くち^{くち}口 おひざ はい

(トン トン トン トン トン)



今月の詩

むかし^{ばなし}噺

きたはらはくしゅう
北原白秋

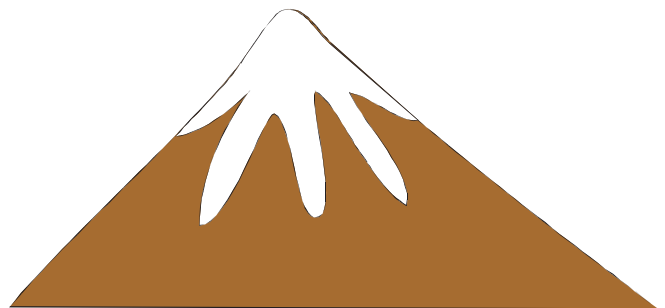
やま 山へとゆくのはお^{じい}爺さん、
かわ 川へと^{くだ}下るはお^{ばあ}婆さん。

やま 山では^{しば}柴^か刈る^{なた}鉈^{おと}の音、
かわ 川では^{もも}桃^よ呼ぶ^こ小手^てまねき。

むかしのむかしはなつかしい、
いつでも^{あお}青^{そら}空、^{ひより}日和^{どり}鳥。

ねんねのお^{さと}里はなつかしい、
いつでも^{ゆう}夕^{やけ}焼、^{やぶ}藪^{すずめ}雀。

やま 山へとゆくのはお^{じい}爺さん、
かわ 川へと^{くだ}下るはお^{ばあ}婆さん。



ふうぜん ともしび
風前の灯

風かぜの吹くふ中なかに置おかれた灯ともしびが、今いまにも消きえそうになる
ことことから、危き険けんに直ちよくめん面めんし、滅めつ亡ぼう
寸すん前ぜんであること。



へ た てっほう かず あ
下手な鉄砲も数うちや当たる

へたでも何なん度どもやれば、まぐれでうまくいくことことも
ある。



ほとけ かあ さん ど
仏の顔も三度

どんなに穏おん和わな人ひとでも、たびたびひどいことことをされ
れば、腹はらを立たてる。



やすもの が ぜにうしな
安物買いの銭失い

安やすいものは品ひん質しつも悪わるく長なが持もちしない。安やすいものを買か
えばかえって損そんをする結けっ果かになる。



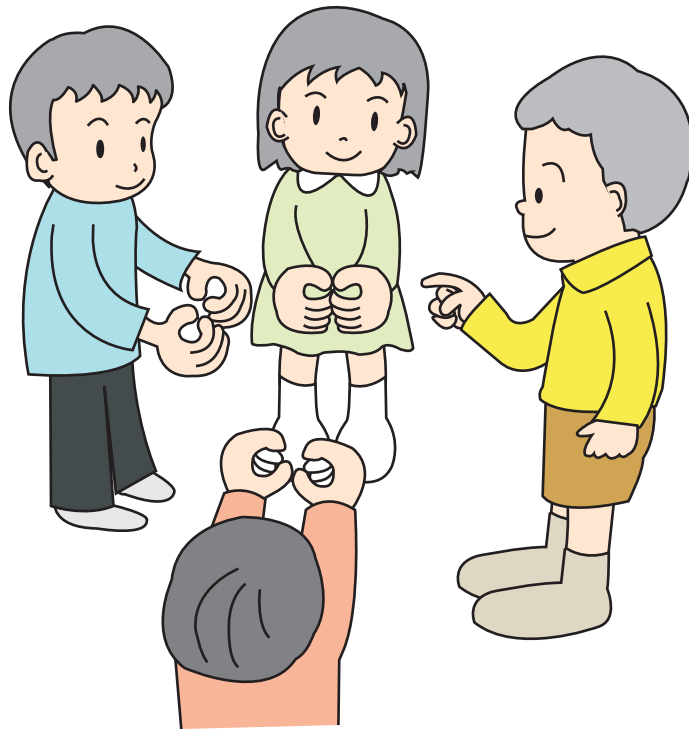
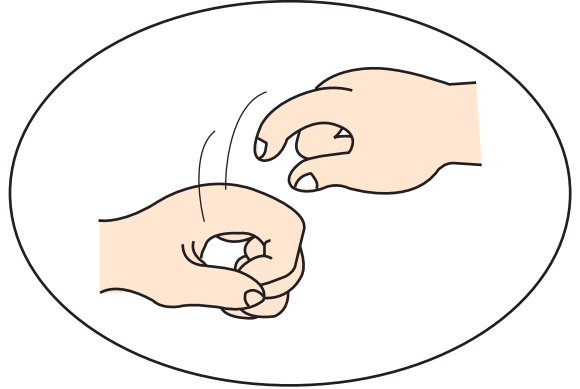
なぜなぜ

- 1 天気てんきがいいとおるすばん、雨あめがふると元気げんきにおでかけなあに？
- 2 りっぱと言いわれてるのに、いつも足あしでふまれているものはなあに？
- 3 うしはうしでも、あたまにかぶるうしはなあに？
- 4 かばはかばでも、おなかにいっぱい物ものをつめこむかばはなあに？



《ずいずいずっころばし》

- ① ずいずい ずっころばし
 ごまみそ ずい
 ちゃつぽに おわれて
 トッピンシャン
 ぬけたら ドンドコショ
 たわらの ねずみが
 こめくって チュー
 チュー チュー チュー
 おどさんが よんでも
 おかさんが よんでも
 いきっこなしよ
 いどのまわりで おちゃわんかいたの だあれ

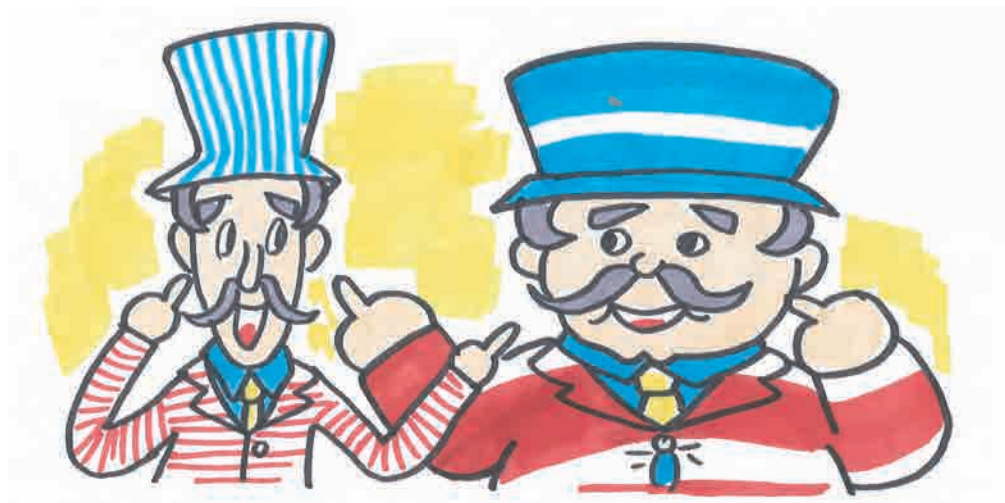


みんなでわになり、わっかにしたりょう手をまえにだす。
 おには、うたにあわせて、じゅんばんに手のあなに人さしゆびをいれていく。
 うたいおわたとき、ゆびが入っている手をおろす。
 さいごまで手がのこった人がつぎのおになる。

《はんたいことば》

くらべてみよう はんたいことば
おお ちい おお ちい
大きい 小さい 大きいぞうと 小さいねずみ
なが みじか みみ みみ
長い 短い うさぎの耳と ねこの耳
たか ひく たか ひく いえ
高い 低い 高いビルに 低い家
ふと ほそ ふと ほそ
太い 細い 太いうどんと 細いそば
あか くら あか ひ くら よる
明るい 暗い 明るいお日さま 暗い夜

まだまだあるよ はんたいことば
うえ した みぎ ひだり まえ うし うち そと ちか とお
上と下 右と左 前と後ろ 内と外 近い遠い
みんなも たくさん さがしてみよう



いちちよういっせき
一朝一夕

わずかな期間のこと。



じごうじとく
自業自得

自分がした悪いおこないの報いを自分自身で受けること。

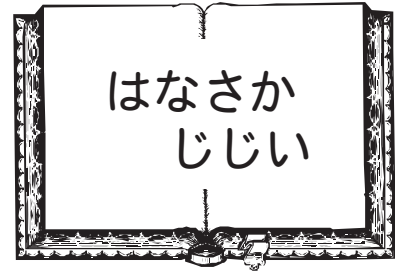


ひゃっぱつひやくちゆう
百発百中

銃弾や矢がすべての的に当たること。予想やねらいなどがすべて思い通りになること。



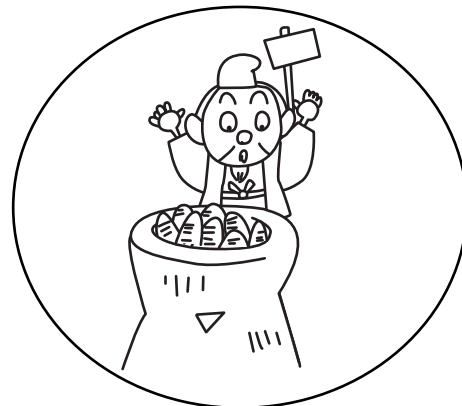
おはなし



「はなさかじじい」は、^{いぬ}犬をかわいがっていたやさしいおじいさんおばあさんと、^{よくば}欲張りなおじいさんおばあさんのお話です。

お話を聞いた^{あと}後で、^{しつもん}質問にこたえてみましょう。

- 1 ^{いぬ}犬の名前は、^{なまえ}何と^{なん}いいましたか。
- 2 ^{やさ}優しいおじいさんが^ほ掘ったら、^{なに}何が^で出てきましたか。
- 3 ^{よくば}欲張りなおじいさんがおもちをついたら、^{どう}どうなりましたか。
- 4 ^{やさ}優しいおじいさんは、^{はい}灰を^{かんが}どうしようと^{かんが}考えましたか。
- 5 ^{よくば}欲張りなおじいさんは、^{しまい}しまいには^{どう}どうなりましたか。



黄鶴楼にて孟浩然の
広陵に之くを送る

李白



故人西のかた黄鶴楼を辞し
烟花三月揚州に下る
孤帆の遠影碧空に尽き
惟だ見る
長江の天際に流るるを

百人一首

契^{ちぎ}りおきし

させもが露^{つゆ}を命^{いのち}にて

あはれ今年^{ことし}の秋^{あき}もいぬめり

(藤原基俊)

夜^よをこめて

鳥^{とり}のそら音^ねははかるとも

よに逢坂^{おうさか}の関^{せき}は許^{ゆる}さじ

(清少納言)

これやこの

行くも帰^{かえ}るも別^{わか}れては

知るも知らぬもあふ坂^{さか}の関^{せき}

(蝉丸)

誰^{たれ}をか

知る人も人にせむ

松^{まつ}も昔^{むかし}の高砂^{たかさご}の友^{とも}ならなくに

(藤原興風)



藤原基俊